

南空知圏域における定住自立圏に向けた中心市宣言の公表について

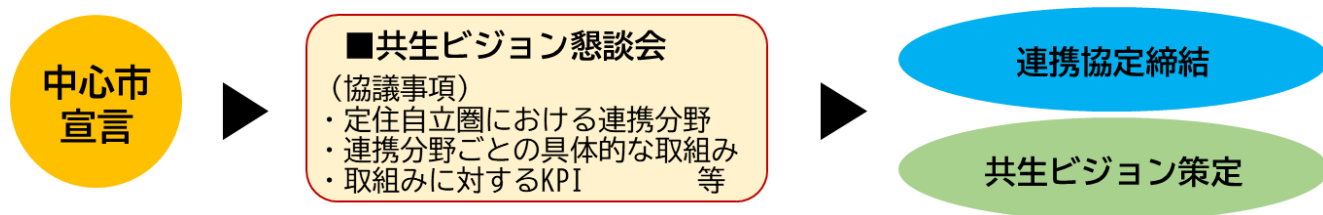
南空知 9 市町での定住自立圏の形成に向けて、その第 1 ステップとなる『中心市宣言』を、岩見沢市として本日公表いたしました。

(1) 定住自立圏とは

人口減少や少子高齢化の影響が著しい地方圏において、都市機能を有する「中心市」と近隣市町が役割分担と相互補完を行い、圏域全体で必要な生活機能を確保することで、安心して暮らせる地域の形成と人口定住を図る取組み。

〔令和 6 年 4 月現在：全国 130 圏域（道内 13 圏域）〕

(2) 定住自立圏形成までの流れ



(3) 中心市宣言の内容

◆ 要旨

- 1 南空知圏域の人口が縮小する中、9 市町で共通のビジョンを持ち、豊かな未来を築く。
- 2 行政事務の効率化や経営資源の共同利用等、地域課題に広域的に取り組む、住民に対する質の高いサービスの持続的な提供を図る。
- 3 将来に渡って、誰もが安心して暮らし続けられる、活気ある南空知圏域の形成に向けて、岩見沢市と近郊 8 市町が手を取り合う。
- 4 岩見沢市は、地域の拠点都市としての役割を果たし、南空知圏域の形成に取り組む。

◆ その他の掲載事項

- (1) 都市機能の集積状況
- (2) 近隣市町からの都市機能利用状況
- (3) 連携に向けたこれまでの取組み
- (4) 連携が想定される取組み
- (5) 連携の意思を有する近隣市町

《国の要綱における連携想定項目》

- ① 生活機能の強化に係る政策分野
医療、福祉、教育、土地利用、産業振興、環境、防災
- ② 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野
公共交通、ICT インフラ、道路インフラ、地産地消、移住・交流
- ③ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野
人材育成、外部人材活用、職員研修

(4) 共生ビジョン懇談会

設置時期 6～7 月

懇談会委員 概ね 15 名程度

構成：医療、教育、経済など共生ビジョンへの掲載が想定される分野から委員を選出

※岩見沢市以外の構成市町からも委員を選出

(5) 今後のスケジュール

共生ビジョン懇談会

設置後 ～ 令和 7 年 1 月頃

連携協定締結（岩見沢市⇄構成市町）

令和 7 年 3 月下旬 予定

共生ビジョン策定

//

定住自立圏による取組みスタート